



資料検索

図書館 だより



若い人に贈る読書のすすめ 2025

公益社団法人読書推進運動協会は、毎年若い人にぜひ読んでもらいたい本を紹介しています。現在図書館では紹介された本の特集をおこなっています。若いときに読書をするには、大きな爽りをもたらします。この機会にぜひ読んでみてください。

読書について

「読書は鼻歌くらくらちよんごころ」
大島 梢絵／著
「なぜ働いていると本が読めなくなるのか」
三宅 香帆／著



教訓

「考え方ひとつで明日はもっとうまくいく」
内藤 誼人／著
「生きのびるための事務」
坂口 恭平／原作、道草 晴子／漫画
「あつという間に人は死ぬから」
佐藤 舞／著
「経済評論家の父から息子への手紙」
山崎 元／著

伝記

「迷いのない人生なんて」
共同通信社／編



語学

「世にもあいまいなごびの秘密」
川添 愛／著

社会・経済

「きみのお金は誰のため」田内 学／著
「何回説明しても伝わらない」はなぜ起るのか？
今井 むつみ／著
「君の声が聴きたら」
ニエス「君の声が聴きたら」プロジェクト
根っからの悪人ってどんなの？
坂上 香／著
「ネットにうごめられたら、どうすればいいの？」
春名 風花／著

自然科学・医学

「バッタを倒すゼアフリカで」
前野 ウルド浩 太郎／著
「注文に時間がかかるカフェ たとえば「あ行」が苦手な君に」
大平 一枝／著
「今さら聞けない睡眠の超基本」
柳沢 正史／監修



文学・手記

「宙わたる教室」
伊与 原新／著
「成瀬は信じた道をいく」
宮島 末奈／著
「夜と跳ぶ」
額 賀 滯／著
「喫茶おじさん」
原田 ひ香／著
「アナタノキモチ」
安田 夏菜／著
「あなたの言葉を」
辻村 深月／著
「休むヒント。」
群像編集部／編
「あらゆることは起こる」
柴崎 友香／著



第172回 芥川賞・直木賞

1月に発表された芥川賞・直木賞受賞作と候補作の特集をおこなっています。

芥川賞受賞作

「DOPPIA」
安堂 ホセ／著



「ゲートはすべてを言った」
鈴木 結生／著



直木賞受賞作

「藍を継ぐ海」
伊与 原新／著



開館時間

午前9時から午後5時

休館日 月曜日・第2木曜日
(祝日を除く)

問合せ先 ☎ 95-30909